

話題提供：役重善洋

(京都大学大学院人間・環境学研究科)

矢内原忠雄の帝国主義批判と
シオニズム論

無料

1月16日(水)

午後1:30~4:30

大阪市立大学人権問題研究センター
共同研究室

お問い合わせはセンターまで
06-6605-2035
otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp

矢内原忠雄(1890-1963)は、平和主義者、無教会主義キリスト信徒、植民政策学者等、様々な顔をもつリベラリストとして知られる。しかし、彼が、シオニズムおよびユダヤ人に対する学問的かつ信仰的な関心を強くもっていたことについては、これまで余り注目されてこなかった。本発表では、シオニズムが矢内原の平和主義に与えたインパクトについて考察し、キリスト教思想と植民地主義認識のトランスナショナルな連鎖・交差という視点から、この問題を探ってみる。